

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 4 月 4 日(2022.4.4)

【公開番号】特開 2020-167312(P2020-167312A)

【公開日】令和 2 年 10 月 8 日(2020.10.8)

【年通号数】公開・登録公報 2020-041

【出願番号】特願 2019-68047(P2019-68047)

【国際特許分類】

H 0 5 K 1/14(2006.01)

G 0 3 G 15/00(2006.01)

G 0 3 G 21/16(2006.01)

B 4 1 J 29/00(2006.01)

【F I】

H 0 5 K 1/14 Z

G 0 3 G 15/00 6 8 0

G 0 3 G 21/16 1 0 9

B 4 1 J 29/00 C

10

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 25 日(2022.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録材に画像を形成する画像形成部と、

前記画像形成部の長手方向における前記画像形成部の第一の端を支持する第一の側板と、

前記長手方向における前記第一の端とは反対側の前記画像形成部の第二の端を支持する第二の側板と、

前記第一の側板を介して前記画像形成部が設けられた内側とは反対側の外側において前記

第一の側板に設けられ、前記第一の側板の外側の表面に沿って延びた電子回路基板と、

前記電子回路基板と電氣的に接続され、無線通信のためのアンテナを備えた通信基板と、

鉛直方向において前記画像形成部の上方に設けられ、前記画像形成部によって画像形成された記録材が排出される排出トレイを備えた天面部材と、

前記電子回路基板が延びる平面に対して交差する平面において前記通信基板が延びるように、前記鉛直方向において前記通信基板を前記天面部材よりも下側の位置で支持する保持

部材であって、前記第一の側板に取り付けられた保持部材と、

を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記電子回路基板は、外部情報機器から情報が入力されるインターフェース基板であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

入出力端子が設けられた背面部材をさらに有し、

前記第一の側板の外側の表面に対して垂直な方向からみたとき、前記インターフェース基板は前記通信基板よりも前記背面部材に近い位置に設けられている

ことを特徴とする請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

20

30

40

50

前記第一の側板の外側の表面に対して垂直な方向からみたとき、前記電子回路基板が設けられた水平方向における第一の領域と、前記通信基板が設けられた前記水平方向における第二の領域は重ならない

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記第一の側板と前記第二の側板は、金属からなり、

前記第一の側板に取り付けられた樹脂からなる支持部材をさらに有し、

前記保持部材は、前記支持部材を介して前記第一の側板に取り付けられている

ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記支持部材は、前記第一の側板から前記第一の側板の外側へ突出した凸部を有し、

前記保持部材は、開口部を有し、

前記保持部材は、前記開口部が前記凸部と係合するようにして位置が決められている

ことを特徴とする請求項 5 に記載の画像形成装置。

【請求項 7】

前記保持部材は、スナップフィット部を有し、前記スナップフィット部により、前記第一の側板に対して取り付けられている

ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 8】

前記保持部材は、前記通信基板を支持する支持面と、前記通信基板が鉛直上方へ移動する規制部を備えた壁面と、前記壁面と対向するように配置され、前記通信基板を前記壁面とで挟み込む第 2 スナップフィット部と、を有する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 9】

前記第一の側板とで前記電子回路基板を挟むように、電子回路基板を覆う側面部材を有し、

前記保持部材に装着された前記通信基板は、前記画像形成装置から前記側面部材を取り外すことにより、着脱可能とされた

ことを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 10】

前記通信基板は、記憶素子とバッテリーを備えたバックアップ部材である

ことを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで本発明に係る画像形成装置は、記録材に画像を形成する画像形成部と、前記画像形成部の長手方向における前記画像形成部の第一の端を支持する第一の側板と、前記長手方向における前記第一の端とは反対側の前記画像形成部の第二の端を支持する第二の側板と、前記第一の側板を介して前記画像形成部が設けられた内側とは反対側の外側において前記第一の側板に設けられ、前記第一の側板の外側の表面に沿って延びた電子回路基板と、前記電子回路基板と電氣的に接続され、無線通信のためのアンテナを備えた通信基板と、鉛直方向において前記画像形成部の上方に設けられ、前記画像形成部によって画像形成された記録材が排出される排出トレイを備えた天面部材と、前記電子回路基板が延びる平面に対して交差する平面において前記通信基板が延びるように、前記鉛直方向において前記通信基板を前記天面部材よりも下側の位置で支持する保持部材であって、前記第一の側板に取り付けられた保持部材と、を有することを特徴とする。

10

20

30

40

50